

# ほんごう

国立富山工業高等専門学校同窓会会報

No. 12 2008年(平成20年)10月発行  
〒939-8630 富山市本郷町13番地  
国立富山工業高等専門学校同窓会  
発行責任者 石山 彰 雄  
印刷 / 株式会社 宮越印刷

## 第2回 関東支部同窓会開催決定

日時 平成21年1月24日(土) 午後6時  
場所 品川プリンスホテル アネックスタワー  
1F 和食ななかまど  
(東京都港区高輪4-10-30)  
TEL 03-5421-7868 (直通)  
会費 1万円



関東地区にお住まいの方、わざわざ富山まで来れないという方。ぜひ、参加してください。なお出席の方は同封のはがきにて、**12月20日まで**にお知らせ下さい。



いっぺんこられまあー

## ほんごう会大懇親会開催

(平成20年度総会)

場所 / 名鉄トヤマホテル  
会費 / 30才未満及び女性 ￥3,000  
30才以上の男性 ￥5,000  
新卒者 無料

恩師の先生方にも御案内しています。

なお出席の方は同封のはがきにて、**10月27日まで**にお知らせ下さい。

# 11月3日(月・祝)

PM5:00~ 講演会  
米田 校長先生

PM6:00~ 懇親会(総会)

詳しくは富山高専 椎名教員  
TEL・FAX 076-493-5446  
E-mail: cina@toyama-nct.ac.jp  
または、同窓会メール  
E-mail: info@tk-hongou13.net

多数の参加をお待ちしています。

## ご挨拶 — 高専の高度化再編 —



校長 米田 政明

富山高専同窓会の皆様には益々ご健勝にてご活躍のことと存じます。日頃から皆様の母校富山高専に対し暖かいご支援とご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

昨今の気象は異常です。平成16年は台風が日本列島に10個上陸したかと思うと（富山県を通過して大きな被害をもたらしたのもありました）、今年は秋分の日現在でまだ1個も上陸していません（因みに、平均では1年に2.6個だそうです）。今年は台風よりゲリラ的な集中豪雨が富山県を含め日本各地に被害をもたらしました。愛知県岡崎市では時間雨量147ミリメートルという想像さえできないような豪雨がありました。これらの異常とも見える気象現象はやはり「地球温暖化」が要因になっているのでしょうか。

今年は7月に北海道洞爺湖サミットが開催され、地球温暖化防止（温室効果ガス削減）が主要議題として取り上げられました。サミットでの首脳宣言に盛り込まれた目標は「2050年までに温室効果ガスを世界全体で半減、つまり50%削減する」というものですが、そのための具体的な道筋が定かではなく、目標の達成を疑問視する向きも多いようです。地球規模の温暖化対策も勿論重要ですが、一人ひとりの環境保全意識の醸成や環境保全活動への取り組みはもっと重要と考えます。

その意味で本校が昨年11月「エコアクション21」に認証・登録されたことは特筆に値すると思います。これは本校の環境への取り組みが環境省の定めたガイドラインに適合していると財団法人地球環境戦略研究機関から認証されたもので、高専では全国初です（本校

ホームページの「地域の皆さんへ」からご覧いただけます）。このこともあり、本校では学生・教職員が心をひとつにして省エネルギーやゴミの総量抑制などに取り組んでいます。また、校内や近隣町内の環境美化活動にも積極的に参加しています。

さて、表題に掲げさせていただいた「高専の高度化再編」に話題を移します。

昨年の本会報のご挨拶でも書かせていただきましたが、全国55の国立高専を設置・運営している独立行政法人国立高等専門学校機構（以後、高専機構と略記）の方針で「国立高専の再編整備」が進められています。きっかけは、15歳人口の減少、子供たちの理科離れ、中高一貫校の台頭、そして国の行財政改革路線です。日本の高度成長期を支える中堅技術者を育成する目的で昭和37年から順次設立された高専は所期の目的を達成し十分に成功した学校種であります。その後、平成4年からは順次専攻科も設置され、現在は実践的かつ創造性に富む技術者の育成機関として地域産業界始め各界から高く評価されています。これは高専卒業生や専攻科修了生に対する求人倍率の高さからも分かり（高専卒業生：20倍、専攻科修了生：30倍）、また中央教育審議会大学分科会に設けられた高専特別委員会で盛んに議論されたところでもあります。

このように言わば足腰の強いうちに将来に備えて改革をいま行う、これが高専機構の判断であり方針です。評価が高いとはいえ、志願者倍率が下降気味であることを思うと、いまの評価の高さに胡座をかいている訳にはいきません。高専機構から措置される運営費交付

金には毎年1%の効率化係数が相変わらずかかっており、かつ5年で5%の人件費削減も引き続きかかってくる情勢です。そのため、いまこそ強靱で持続性のある体質に転換することになったのです。

高専機構はこの「強靱で持続性のある体質に転換すること」を今年から「高度化再編」と呼ぶようになりました。その特徴として、学科数は削減するが、教員を分厚く配置することにより、教育研究の質を向上させる、地域人材開発本部を設置し、本部傘下のセンターに専任教員を配置することにより、地域連係機能を強化する、取り分け評価の高い専攻科を拡充するという3点を上げることができます。これまで高専の教員は誰も忙しくてゆとりがないと言われていまし

たが、により学科を担当する教員数が現在より多くなれば教員側にもゆとりができます。また、高専はこれまで地域社会とりわけ地域産業界との連携に注力してきましたが、によりこれまで以上に企業との共同研究や企業技術者のスキルアップコース開設などの共同教育が促進すると期待されます。

今回の高度化再編は全国4地区で同時並行的に準備が進められています(宮城地区:宮城工業と仙台電波、富山地区:富山工業と富山商船、香川地区:高松工業と詫間電波、熊本地区:熊本電波と八代工業)。以下に、富山地区の高度化再編の結果設立される予定の新高専の概要を紹介します(括弧内数字は入学定員)。

【名称】富山高等専門学校(仮称)

【代表住所】富山県富山市

【学科】

[本郷キャンパス] 機械システム工学科(40)、電気・システム制御工学科(40)、物質化学工学科(40)

[射水キャンパス] 電子情報工学科(40)、国際ビジネス学科(40)、商船学科(40)

【専攻科】

[本郷キャンパス] エコデザイン工学専攻(24)

[射水キャンパス] 制御情報システム工学専攻(8)、国際ビジネス学専攻(4)、海事システム工学専攻(4)

【地域人材開発本部】

地域イノベーションセンター(本郷キャンパス)、教育技術センター(本郷キャンパス)、

国際教育センター(射水キャンパス)

他に、図書館情報センター(射水・本郷キャンパス)

【設立時期】平成21年10月(同時に本校と富山商船高専は廃止)

【学生受入】平成22年4月

統合まであと1年、新高専が本校と富山商船高専の持つ教育研究資源を最大限に活用し、また両校の歴史と伝統を活かして全国国立高専のモデルとなるような、言わば「スーパー高専」を目指して更に検討を進めていく所存です。同窓会の皆様には引き続きご理解とご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます、また皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

## ご挨拶



水野正孝

卒業生の皆さんいかがお過ごしでしょうか。昭和51年4月に本校に赴任しまして、33年間の長きに渡り、お世話になりました。

現在、皆さんの母校は来年秋の統合再編に向けて「change」の最中です。

さて、「同窓会会報」ということで、その当時、私の所属しました英語科について、少し振り返って見たいと思います。その理由として、「英語」は必修という教科の性質上、低学年の1、2年等で卒業生のほとんどの方が受講されたと思ったからです。

その当時、英語科には3人の先生方がいらっしゃいました。六浦先生はご住職ということもあり、話題も豊富で話術も巧みな方でした。鉄道ファンでもあり、列車のプラモデルや、クラシック音楽にも造詣の深い方でした。平成元年に高岡法科大学に転出され、残念ながら、平成16年に他界されました。

高瀬先生は、囲碁やクラシック音楽がご趣味で、学生への送る言葉では、よく「和して同ぜず」とお書きになっていました。

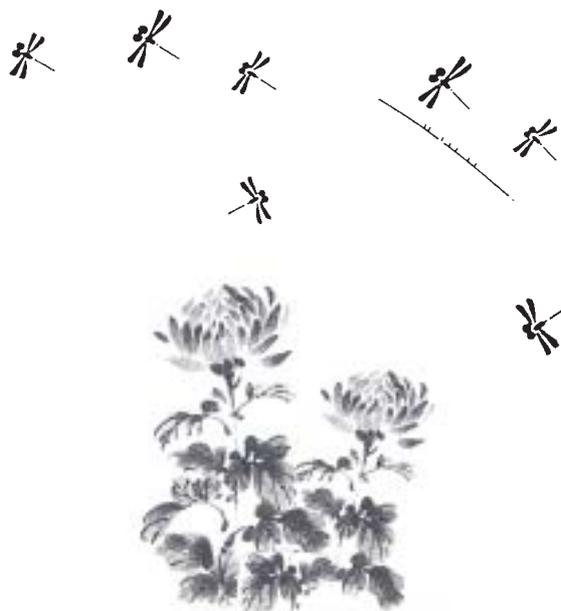
佐藤先生は、愛車として日産スカイラインをずっと乗り継いだり、楽器や絵画等、多彩な趣味の持ち主でした。平成3年に朝日大学へ転出されました。

また、私を含め、4人で勤務の後、喫茶店

でコーヒーを飲みながら、談笑したり、夏休みに英語科旅行として、小松空港から「香港・マカオ」へ海外旅行をしたこともありました。

現在の英語科は、立野先生（英語科主任）、富田先生（教員交流で来年3月まで富山商船高専へ）、青山先生、高越先生、チャーリ先生（富山商船高専より、来年3月まで本校に）、そして、私。以上が英語科の今昔です。

最後になりますが、同窓会員の皆様のみますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。





## 就 任 14 年 の 今

同窓会長 石山 彰雄

富山高専創立30周年時の平成6年に同窓会長に就任して以来、14年間同窓会と係ってきた。それまで活動を中止していた同窓会の会則改正を始め、同窓会総会、理事会などを会則に則った形で組織運営をしてきた。

その間、

- ① 会報ほんごうの発行
- ② 学校・教育後援会・同窓会の三者懇談会の開催
- ③ 卒業祝賀会の教育後援会との共催
- ④ 学生に対する助成、講演会の開催
- ⑤ ロボットコンテストへの助成
- ⑥ クラス会、クラブOB会活動への助成
- ⑦ 評議員として富山高専評議員会へ出席
- ⑧ 富山高専技術振興会の理事として協賛、支援



など実施してきた。

平成20年度事業計画のなかで、今回は特に下記事項につき重点的に実施することとしている。

- ① ホームページの改変に関する検討。
- ② 関東支部同窓会の第2回目の開催。

については最終ページのとおり同窓会ホームページをリニューアルして立ち上げたので是非御利用頂きたい。今後の更新も遅れないよう努力してゆきたいと考える。

の関東地区における同窓会懇親会の第2回を今年度是非実施したい。

第1回は確か5年程前に実施し、同窓生が80名程参加して頂いた。今回は下記のとおり実施するので、是非参加願いたい。

今回は関東支部長を是非決定してもらいたい。

記

日 時 平成21年1月24日(土) 午後6時  
場 所 品川プリンスホテル アネックスタワー 1F 和食ななかまど  
(東京都港区高輪4-10-30)  
TEL 03-5421-7868 (直通)  
会 費 1万円

尚、富山での同窓会総会(ほんごう会大懇親会)も下記のとおり実施するので是非参加願いたい。

記

日 時 平成20年11月3日(文化の日) 午後5時  
場 所 名鉄トヤマホテル

事業計画のなかにもある通り、商船高専との統合が2年後実施となるが、同窓会の形態についても協議が必要で、これから対応してゆかなければならない。

会員諸兄にも、是非御協力頂きたい。

### 3 M クラス会

オリンピックイヤーごとにクラス会を開催してきた。今迄は全て富山において開催してきたが、一度は東京で開催しようということになり、東京品川プリンスホ

テルにて実施した。

しかしである集合人数は、富山開催とほとんど変わらない10人。

もっと関東地区から集まると思っていたが、ガッカリであったが、遠路はるばる来て頂いた石崎先生を含め、時間のたつのも忘れ昔話に花が咲いた。

今回は60才の節目に富山で再開することを約束して散会した。

今回は今回出席できなかった同朋も是非出席願いたい。

当日の出席者は写真のとおり。

(世話人 石山 彰雄)



麻生	島林	下田	金森	山本
小島	石山	石崎先生	宮袋	京田

### K9 岩井先生を祝う会

平成20年8月16日、午後3時30分からANAクラウンホテルにおいて、金属工学科第9回生のクラス会を3年ぶりに開催しました。

を過ごすことができました。

今回のクラス会には、同級生が元気で再会し、多くの方が出席されるようお願いします。

今回は、3月にめでたく定年退官された岩井先生を祝う会としたこともあって前回よりも多い総数18名となりました。海外や県外から駆けつけてくれた者、久しぶりに出席した者など、まず近況報告、仕事、家族、趣味、高専時代、今後の高専の統合などの話題で大いに盛り上がりました。

(理事 菅野 英雄)

岩井先生が筆舌できない猛者の集団とされた我々も40代半ばを過ぎ、いろいろな人生ドラマを作っていました。8時から、会場をスナックアルバーに移り、夜12時まで楽しいひととき



## 35K 半年前の卒業からの第一回同窓会にて

私たち35Kは、平成20年3月18日に富山工業高等専門学校環境材料工学科を卒業しました。それから半年後の先日8月14日、28人が集まり第一回同窓会を行いました。荒町電停前のシャオチャー（アジア居酒屋）において、2時間のお酒を交えての楽しい場となりました。

卒業してから気づくこと。それは如何に35Kのメンバーで過ごした5年間は居心地がよく、楽しくて、言い表せない程の素敵な時間であったかということです。みんなそれぞれが異なった個性を持ち、それらが反発し合うことなく、自然に尊重し合い、また異なるからこそ面白く、そんな毎日を送っていたと思います。そこにいた時はなかなか気づくことは出来なかった事ですが、卒業し、新しい環境に入ったときに初めて大きく感じた事です。

今回の同窓会の間はそんな35Kが久しぶりに集り、学生時代に戻ったかのような時間を過ごしました。

そんな中で、見た目の変化というもの大きくは感じなかったのですが、みんなそれぞれが、新しい環境での気持ち、悩み、その中でも楽しみ、そして新しい出会いなど様々な変化を経ていることに気がきました。

自分の経験のない場の話聞くことは非常に新鮮で、物事を見る視野が広がったように感じましたし、これからの進路について考えることもできました。

今回のこの同窓会が、卒業からさらに月日がたった後に、また再会し旧友の素敵な変化に感化し合い、それぞれが成長していけるような場になっていくように、10年、20年、もっと先においても末長く続けていきたいと思っています。

（瀧川 恵里花）



## 同窓会会計報告

### 平成19年度 決算報告

#### 収入の部

項目	決算額	摘要
繰越金	731,613	
同窓会会費	1,710,000	171人×1万円
名簿売上等	51,721	名簿売上(1部) ¥5,000三者懇談会教育後援会分 ¥33,394円 2007年富山高専講演会(野口氏) 同窓会会報へのパンフ折込発送立替分 ¥13,327円
利息	14,068	H20年3月31日まで
計	2,507,402	

#### 支出の部

項目	決算額	摘要
総会費	156,487	振り込み手数料込み
理事会費	70,754	振り込み手数料込み
学生会助成費	170,000	部活動助成金(サッカー部3万円、卓球部3万円、野球部2万円、囲碁将棋部2万円、ハンドボール2万円)、志峰祭パンフ5万円
ロボコン助成費	100,000	2件分(¥50,000×2件)
渉外費	0	出張が無かった。
事務局運営費	120,502	パート代、事務用品等
会報発行活動費	686,495	総会案内を含む
定期協議会費	66,789	三者懇談会費(教育後援会負担分を含む)
支部活動助成費	20,000	クラス会助成費(2件)
祝賀壮行会費	90,000	新卒クラス理事への補助金(4学科+2専攻で6万円)卒業祝賀会費は教育後援会からの請求が遅かったため翌年度回しになります(9万3千円)、花代3万円(教育後援会立替分含む)
講演会費	0	実施せず
負担金	90,000	技術振興会年会費
予備費	210	ATM手数料
計	1,571,237	

### 平成20年度 予算

#### 収入の部

項目	決算額	摘要
繰越金	936,165	
同窓会会費	1,700,000	170人×1万円
利息	1,000	
計	2,637,165	

#### 支出の部

項目	決算額	摘要
総会費	250,000	
理事会費	120,000	常任理事会を含む
学生会助成費	150,000	クラブ活動・志望祭
ロボコン助成費	100,000	2件分
渉外費	30,000	「ヒューマンネットワーク高専」総会出席旅費
事務局運営費	150,000	手当等
会報発行活動費	730,000	総会案内を含む
定期協議会費	50,000	三者懇談会費を含む
支部活動助成費	150,000	関東支部・クラス会助成
祝賀壮行会費	150,000	
講演会費	50,000	
負担金	100,000	技術振興会会費
予備費	607,165	
計	2,637,165	

## 平成20年度 富山高専同窓会事業計画案

同窓会が、会員に身近なもので、気軽に参加できる体制作りと在校生を含めた広報、P.R.活動を積極的に実施する。

又、教育後援会及び学校側と共に富山高専のより良い伝統の構築を目指して活動する。

産学連携の特徴である技術振興会のP.R.と支援。

### 具 体 的 事 業

#### 1. 総会・理事会・常任理事会の更なる活性化

理事・常任理事等役員には、それぞれの立場での自覚を促すと共にきめ細かい出席要請を実施する。

今年の総会開催予定日である11月3日(文化の日)は、月曜日だが祝日であり会則どおり開催する。

例年どおり、総会に先立ち講演会を実施する。

#### 2. 会報の充実

会報編集委員会の充実により、より親しまれる会報を目指す。

#### 3. ホームページの改変に関する検討

ホームページの新規立ち上げなどにつき検討する。

#### 4. 関東支部総会の開催

第2回目の支部同窓会を開催する。

#### 5. クラス会・クラブOB会活動への助成

同窓会活動の活性化につながるクラス会・クラブOB会開催に対し助成する。

助成金(1万円)の拠出条件

10名以上によるクラス会・クラブOB会の開催

写真と会報用の簡単な原稿を提出

クラス代表(理事)・クラブOB会代表からの申請(年1回のみ)

#### 6. 富山高専・教育後援会・同窓会の三者懇談会の開催

年間行事の打合せ等、情報の交換により、富山高専のより良い伝統の構築を目指して活動する。

#### 7. 卒業・修了式後の祝賀壮行会の共催

教育後援会との共催、学校の協力により祝賀壮行会を例年どおり実施し、同窓会の卒業生に対するP.R.そして積極的な参加を訴える。

#### 8. 在校生・学生会への積極的助成

在校生に活気を与える積極的な助成を考慮してゆく。

#### 9. ロボットコンテストへの助成

富山高専のロボットコンテストにおける成績向上を目指して同窓会としてできる支援を考慮する。

#### 10. 在校生への後援会の実施

卒業生の社会での活躍をじかに感じてもらい、同窓会をP.R.する。

#### 11. 全国組織への積極的参加

「ヒューマンネットワーク高専」からの情報を伝達し同窓会活動の一助とする。

#### 12. 富山高専技術振興会のP.R.と支援

技術振興会の設立趣旨を会員に広くアピールすると共に同窓会員も積極的に振興会へ参加してもらう様広報する。

技術振興会の事業に対しても積極的に参加する。

#### 13. 商船高専との統合による対応の検討

### 同 窓 会 役 員 名 簿

	回 生	氏 名	勤 務 先
会 長	M 3	石 山 彰 雄	司法書士石山彰雄事務所
副会長	M 4	丸 山 治 久	丸山建設(株) 富山市議会議員
副会長	M 6	布 村 敏 夫	北陸電機製造(株)
常任理事	E 5	山 田 直 樹	アテナ電子
"	M 8	宮 越 成 幸	(株)宮越印刷
"	K 8	奥 野 耕 市	(株)テック・ダイ
"	M15	中 田 涉	朝日印刷(株)
"	E 21	長 田 晃	北陸電力(株)
"	E 13	椎 名 徹	富山高専電気工学科
"	M19	増 山 圭 一	富山高専機械工学科
"	C 24	中 島 栄 次	富山高専物質工学科
監 事	C 3	米 谷 正	富山高専物質工学科
"	M14	本 江 哲 行	富山高専機械工学科



# 栄光の記録

## 第43回北陸地区高等専門学校体育大会

総合第3位 (1位石川高専、2位富山商船、  
4位福井高専、5位金沢高専)

### ○団体

- ・男子バレーボール 3位
- ・サッカー 優勝
- ・卓球 優勝
- ・男子バドミントン 2位
- ・女子バドミントン 2位
- ・男子水泳 3位
- ・男子剣道 3位
- ・男子柔道 優勝
- ・ハンドボール 2位
- ・ラグビー 2位

### ○個人(優勝者)

- ・卓球(男子シングルス) 上野 樹(2K)
- ・バドミントン(男子シングルス) 辻 広大(4M)
- ・バドミントン(男子ダブルス)  
辻 広大(4M)・石田 幸希(1M)
- ・バドミントン(女子ダブルス)  
山下 奈穂(3C)・山崎 由貴(1C)
- ・水泳(男子400m自由形) 高木 駿平(3M)
- ・水泳(男子200m平泳ぎ) 奥井 信行(3M)
- ・水泳(男子200m個人メドレー) 高木 駿平(3M)
- ・水泳(男子100mバタフライ) 奥井 信行(3M)
- ・柔道(女子個人戦) 家城みづき(3C)
- ・柔道(女子個人戦) 白川 郁子(1K)

## ロボコン2008校内アイデア募集選考

- ・Aチーム(Gorillaz) 河原 貴軌(2M)
- ・Bチーム(WILD CATs) 芳田 隼(2E)  
河原 貴軌(2M)  
窪喜 大翔(1E)

## 第95回富山県高等学校弓道選手権大会

- ・遠的団体女子の部 3位

## 平成20年度北陸地区高等専門学校春季卓球大会

- ・団体優勝

## 第44回富山県高等学校将棋選手権大会

- ・団体戦 3位
- ・リーグ戦 1位 杉崎達比古(1K)
- ・リーグ戦 2位 平野 博靖(1E)

## 第57回富山県高等学校総合体育大会柔道競技

- ・男子個人戦 5位 山崎 一樹(3C)
- ・男子個人戦 5位 穴井 健太(1K)

## 富山県高等学校総合体育大会水泳競技

- ・男子200m個人メドレー 2位 高木 駿平(3M)
- ・男子400m個人メドレー 2位 高木 駿平(3M)

## 第43回全国高等専門学校体育大会

### ○陸上(8/16~17 函館市千代台公園陸上競技場)

- ・男子 5000m 出場 平瀬 遼(4M)

### ○柔道(8/24 函館工業高等専門学校第一体育館)

- ・男子団体 3位(3年連続)
- ・女子個人 出場 白川 郁子(1K)
- ・女子個人 出場 家城みづき(3C)

### ○剣道(8/24 釧路工業専門学校第一体育館)

- ・男子個人戦 出場 青木 透(3E)

### ○バドミントン(8/23~24 函館市民体育館)

- ・個人男子シングルス 2位 辻 広大(4M)
- ・男子ダブルス 出場  
辻 広大(4M)・石田 幸希(1M)
- ・女子ダブルス 3位  
山下 奈穂(3C)・山崎 由貴(1C)

### ○水泳(8/24 北海道立野幌総合運動公園温水プール)

- ・男子個人200m個人メドレー 2位 高木 駿平(3M)
- ・男子個人400m自由形 2位 高木 駿平(3M)
- ・男子個人200m平泳ぎ 2位 奥井 信行(3M)
- ・男子個人100mバタフライ 出場 奥井 信行(3M)
- ・男子個人100m自由形 出場 吉田 俊介(1C)
- ・男子個人100m平泳ぎ 出場 吉田 俊介(1C)

### ○卓球(8/24 釧路市厚生年金体育館)

- 男子 団体戦 出場
- 個人 男子シングルス 出場 上野 樹(2K)

平成20年度北信越高等学校体育大会水泳競技

○水泳 (7/19 末広屋外水泳プール)
・男子200m個人メドレー 3位 高木 駿平 (3M)

平成20年度全国高等学校総合体育大会水泳競技

○水泳 (8/17 川口市青木町公園総合運動場プール)
・男子200m個人メドレー 出場 高木 駿平 (3M)

第61回富山県民体育大会弓道競技

○弓道 (7/19 県営富山弓道場)
・少年女子遠的の部 2位 岡本 香奈 (3C)

第41回近畿・東海・北陸・信越地区高等専門学校弓道大会

○弓道 (8/2 鈴鹿市武道館弓道場)
・女子団体の部 3位
・団体の部 3位 Bチーム
・個人の部 6位 杉森 雄平 (3E)

第30回全国高等専門学校通信弓道大会

○弓道 (8/4)
・女子個人戦 3位 岡本 香奈 (3C)

第21回全国高等学校将棋竜王戦富山県大会

○将棋 (7/13 北陸読売会館)
・個人戦 2位 堀江 輝一 (3C)

第15回全国高等専門学校将棋大会

○将棋 (8/20~21 ホテルグランドパレス徳島)
・団体戦 優勝 Aチーム
・個人戦 3位 志村 紀明

第41回滑川市武道大会弓道競技

○弓道 (8/31 滑川市総合体育センター)
・高校の部 団体 2位 (柴野 雅芳/三枝 孝彰/廣田 智也)
・一般女子の部 個人 1位 小西 菜穂 (3C)
・一般の部 団体 1位 Bチーム (川原 理彰/小西 菜穂/杉森 雄平)

第24回富山県ジュニアテニスサーキット

○テニス
・高校2年生 男子シングルス 2位 大場 雄斗 (2M)



囲碁・将棋部、全国高専将棋大会で初優勝

クラブ助成の成果が実る!!

8月19日(火)に徳島市のグランドパレス徳島で行われた第15回全国高等専門学校将棋大会団体戦(全国28校32チーム出場)で、本校Aチームが初優勝を果たした。

志村紀明・村井拓朗君(5年)堀江輝一君(3年)の3名からなるチームは、予選を全勝で勝ち抜き、決勝トーナメントでは、準決勝は函館高専、決勝は八戸高専をそれぞれ2-1で下した。同大会では、本校



囲碁将棋部は、一昨年は準優勝、昨年は3位と入賞しており、念願の初優勝の栄冠を手にした。

また、翌20日(水)に行われた

個人戦(全国30校・127人が出場)においても実力を発揮し、志村君が3位入賞、村井君と堀江君が8強入りしました。



囲碁将棋部は、ここ2年間同窓会からのクラブ助成金を生かして、中部・近畿地区の大会に遠征に出かけるなど、選手強化を図っており、その成果が実った格好だ。また、同部は県の高等学校の大会や一般の大会などでも入賞を果たしている。

(一般科目 高熊哲也)

# 野球部 近況報告

同窓会より、クラブ活動助成をいただき、どうもありがとうございました。

野球部は、高専大会へ出場した選手は高校の大会に出場できないため、3年生以下は高校の大会、4・5年生は高専の大会に参加しております。ここ数年は部員も若干増え、10月末から行われる高野連の1年生

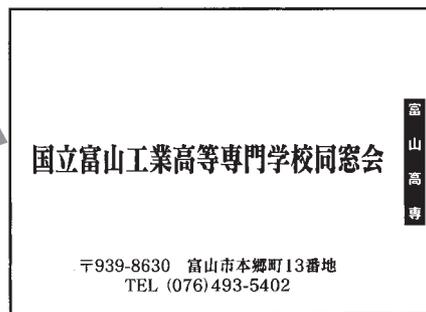
大会にも平成18・19年度と2年連続で出場し、本年度の1年生も9人おり、出場に向け練習を行っております。

高校チームは、本年度、春・夏・秋の県大会はいずれも初戦敗退でしたが、春季の富山地区交流戦は1勝1敗、秋季の富山地区大会は初戦を突破し、ベスト16になりました。高専チームは、北陸地区高専大会は残念ながら初戦敗退でした。

最近の話題としては、本年8月、野球部の保護者の方々が保護者会を作ってください、秋の大会から横断幕もでき、熱心に応援していただきました。高校の大会は新聞等でも試合日程が掲載されますので、野球部のOBに限らず、卒業生の方は、ぜひ球場に足を運んで下さい。

(野球部顧問 環境材料工学科 井上 誠)

七月十日(木)の富山新聞朝刊に富山高専同窓会として野球部の甲子園応援広告を掲載しました。



# サッカー部 近況報告

我々サッカー部は、1年の中で冬以外ほどの季節にも大きな大会があり、常に高いモチベーションを維持しながら日々活動しています。

その年の初めから考えていくと、まず3月の下旬に県選手大会があります。これは、県内すべてのサッカーチームが出場するチャンスがあり、勝ち進めば「カタレ富山」とも対戦できる大きな大会です。

次にあるのは、高校総体です。これは、高校生年代しか出場できない大会ではあるのですが、下学年の気合が部を盛り上げ、サッカー部の雰囲気は非常によくなります。

そして、春から夏にかけては、大学高専リーグという5団体によるリーグ戦が毎年行われています。そして、何と言っても一番気合・やる気ともに入るのが同じ高専間で行われる北陸地区大会と全国予選北信越大会です。

今年度は、北陸地区大会では優勝することができました。しかし、北信越大会では二回戦敗退で全国大会に出場することができませんでした。昨年は、全国大会に出場し、優勝した鹿児島高専に一回戦で敗退するという屈辱を経験させられ、全国レベルを痛感させられたこともあり、今年チームが一丸となり、全国優勝を目指し早い段階から力を入れ練習しました。

そして、その分悔しい思いをしました。

これは、私事かもしれませんが、今年度は先生方、先輩、マネージャーのサポートが例年にも増して良い状態で、選手は最高の環境でプレイすることができたと思います。

自分たち5年はこれで引退ですが、これからは後輩に期待するとともに、しっかりサポートしていきたいと思っています。

(5年 機械工学科 加藤宏明)

## ロボコン報告

本年度、富山高専は13年ぶりに高専ロボコン全国大会に出場し、ベスト8とデザイン賞受賞という成績を収めました。ロボコンに参加していた1人として、この結果はとても嬉しいものでした。

今年のルールは「風林火山 ロボット騎馬戦」ということで、1チーム2台のロボットが与えられた5本の旗を分け合い、アームを使って相手チームと旗を奪い合うものでした。ロボコンでは初めてとなる衝突が反則ではないルールで、試合中にはロボット同士が激しくぶつかり合って転倒したり、衝撃で壊れてしまうといった場面も多く見られました。

今年は全国大会の予選である東海北陸地区大会が富山高専の主幹で行われたこともあり、大会運営に協力して頂いた先生方や同期の期待を裏切るような試合は見せられないというプレッシャーもありました。地区大会には、1～2年生が主体のAチームと3～5年生が主体のBチームの2チームが出場しました。Aチームは初戦で豊田高専に勝利しましたが、次の2回戦で敗退しました。Bチームは初戦で鳥羽商船高専に勝利、2回戦で豊田高専に勝利して準決勝で金沢高専に敗退しました。全国大会には、準決勝に進んだ4チームが選ばれました。また、Aチームは地区大会でマブチモーター賞を受賞しました。

全国大会は両国国技館で行われ、富山高専は2回戦からの出場でした。2回戦で福島高専に勝利し、準々

決勝で詫間電波高専に敗退しました。そして前述の通りデザイン賞を受賞しました。富山県の県花であるチューリップをアピールした装飾や、2台のロボットが合体することでチューリップが花開く動きが審査員に評価されました。

最後になりますが、ここまで今年度のロボコンで得た成果を報告しましたが、ここまでロボットを作るには、先生方の多方面にわたる支援が不可欠だと思っています。また、今年度は電友会 E3、E12 のみなさんなど同窓会の方からも支援していただき、とても励みになりました。この場を借りて御礼申し上げます。今回のロボコンで得たことを基礎に、来年度も頑張りたいと思います。

電友会 (E3・・・米田さん、?、E12・・・大沢さん、鈴木さん、藤森さん、宮崎さんが幹事)



(顧問 電気工学科  
佐藤 圭祐)



### ★編集後記★

- ・富山高専同窓会のホームページが、ようやくが出来上がりました。住所変更や会員相互の情報など書き込みもできます。懐かしい校歌(メロディー)や写真、過去の会報など閲覧できますので、お気軽にご利用下さい。なお、クラス会やクラブOB会などのデータを同窓会のメールに送っていただければ、次回、会報に載せますので、お待ちしております。(助成金があります。)
- ・9月5日に学校、教育後援会、同窓会の三者で懇談会を行いました。商船との統合に向けて不透明な部分もありますが、大筋で決定したことなどの報告を受け、懇親会に移りました。
- ・11月1～2日に志峰祭が開催されます。もちろん、学校開放されていますので、見学に行ってください。懐かしい先生方に会えるかもしれません。

# 同窓会のホームページ が新しくなりました

以前から、富山高専同窓会のホームページを正式に立ち上げようと、理事会でも議題として取り上げてきましたが、この度、ようやく公式ホームページが出来上がりました。住所変更や会員相互の情報など書き込みもできますので、お気軽にご利用下さい。



ほんごう会のホームページアドレスは

[ほんごう会 検索](http://www.tk-hongou13.net/) <http://www.tk-hongou13.net/>

**【会員専用ページ閲覧 IDとパスワード】**

ユーザー ID : member

パスワード : passhongou13

なお、メールアドレスは [info@tk-hongou13.net](mailto:info@tk-hongou13.net) です。

